

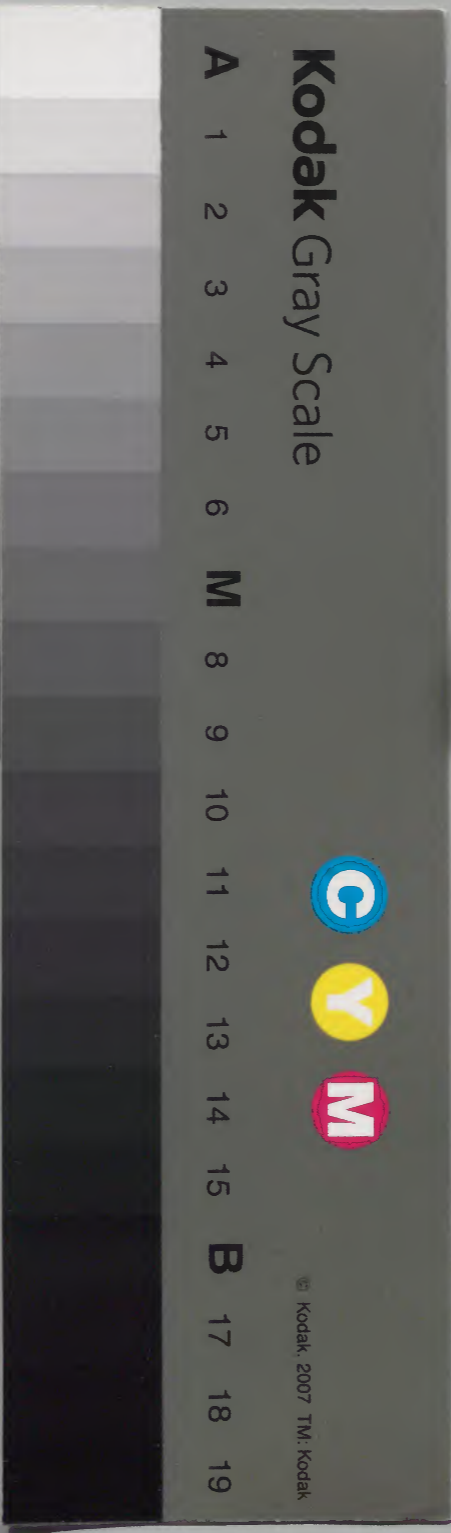
浪江入替

柏木

和書門類			
二七九一號	一八七函	一三架	五四册

内閣文庫			
二七九一號	一八七函	一三架	五四册
和書類			

内閣文庫	
番號	和 27911
冊數	54 ( 36)
函號	203 28





明治二十二年



柏木

四十八歳

白文二歳

物語

引馬文庫

正月古島病重事

古島傳平文古女三事

波任大臣清高本心強老事

古島傳子小傳事

見古二事也

古三文古事

古三文古事

古三文古事

古三文古事

古三文古事

古三文古事

古三文古事

古三文古事

二月柏木大納事



三月廿五日

源氏見若君通奉大納言

四月大納言一乘文給

母所出下給付

大納言波任在任後

了見一乘所出下給

四月大納言一乘文奉

所出下給付

秋長云爾富給

初年 紀元一〇二四年秋

初年 紀元一〇二四年秋

初年 紀元一〇二四年秋

初年 紀元一〇二四年秋

初年 紀元一〇二四年秋

初年 紀元一〇二四年秋

初年 紀元一〇二四年秋

とあるあらしんるる

とありと物十

<sup>初</sup>

初めの中へ流るる年々

<sup>若</sup>

若くは人と

ねしれ方のちりちり

<sup>初</sup>

初め下物十流るる

けしれしるるる

とあるえらるるちりちり

ふさふさ

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

とあるえらるるちりちり

ししきりしきり  
おしきりしきり  
おしきりしきり

おしきりしきり  
おしきりしきり  
おしきりしきり

おしきりしきり  
おしきりしきり  
おしきりしきり

おしきりしきり  
おしきりしきり  
おしきりしきり

おしきりしきり  
おしきりしきり  
おしきりしきり

おしきりしきり  
おしきりしきり  
おしきりしきり

おしきりしきり  
おしきりしきり  
おしきりしきり

おしきりしきり  
おしきりしきり  
おしきりしきり

おしきりしきり  
おしきりしきり  
おしきりしきり

おしきりしきり  
おしきりしきり  
おしきりしきり

おしきりしきり  
おしきりしきり  
おしきりしきり

おしきりしきり  
おしきりしきり  
おしきりしきり

ふつふつと... 水任大臣... 具...

これより... 杉木... 山崎...

後陽成天皇... 親政... 院...

丹波守... 山崎... 院...

山崎... 院... 山崎...

山崎... 院... 山崎...

山崎... 院... 山崎...

山崎... 院... 山崎...

乃西十二作の... 山崎... 院... 山崎...

伊勢物語の...  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~



女三の又の河くわ〜〜〜  
何〜〜〜  
み〜〜〜  
本〜〜〜  
け〜〜〜

〜〜〜  
〜〜〜  
〜〜〜

〜〜〜  
〜〜〜  
〜〜〜

〜〜〜  
〜〜〜  
〜〜〜

○  
女三

〜〜〜  
〜〜〜  
〜〜〜

〜〜〜  
〜〜〜  
〜〜〜

〜〜〜  
〜〜〜  
〜〜〜

〜〜〜  
〜〜〜  
〜〜〜

〜〜〜  
〜〜〜  
〜〜〜

○  
女三

〜〜〜  
〜〜〜  
〜〜〜

〜〜〜  
〜〜〜  
〜〜〜









かきとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)

わいしとくすふての... (Vertical handwriting)



取えらぬ神も心の葉川女も  
くしりてせまきし神も人か  
とくしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ

くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ

くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ

くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ

くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ

くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ

くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ

くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ

くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ

くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ  
くしりていふくしりていふ





物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

物々々音の事

又んむら... ともり物中のほ... 音に... たい... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中...

あうら... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中...

く... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中...

い... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中...

あ... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中...

こ... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中...

ん... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中...

ん... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中...

ん... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中...

ん... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中...

ん... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中... 考<sup>イ</sup>物中...

和の事とていふなを秘川方にてしすたに有

いづれいづくも  
一帯の事とていふな  
流るる事とていふな  
出でせまの事とていふな  
おとせまの事とていふな  
おとせまの事とていふな  
おとせまの事とていふな  
おとせまの事とていふな  
おとせまの事とていふな  
おとせまの事とていふな

朱彦治の事

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな

おとせまの事とていふな





の心り

初言横帯を母意のぬくりにけりあふ

大由子のゆらゆらし 夕音流せよささゆらゆらと

女川の心まはら 初わが女心ゆらゆらとあふて事し

つり糸つる 初玉柄有く

王乳母 或王乳 心ゆらゆらとあふて事し

ろい 初初物あふて事し

また 初眼の中 兼

又肝徒 横波 眼尾をさす

雲い 初女三之文のゆらゆらとあふ

き 初眼の中 兼 横波 眼尾をさす

また 初初物あふて事し

女十八者方有 後辞 恩良 喜亦 倍 喙 拊 盃 流 彩 衣 沈 悒

勿 惣 思 似 汝 又 耶 白樂天 自 嘲 詩 八 句

樂天の子ねくして老女のむいん 女十八者して始て男を

生はさるるまさととらば 初女十八者して始て男を

詩く 初初物あふて事し

白アリ解流 初何尼賦一聚 塵 空 塵 云 句 七 載 二 句

白文集 初初物あふて事し

女十八 初初物あふて事し

樂天 初初物あふて事し

い 初初物あふて事し

海 初初物あふて事し

ト 初初物あふて事し

未 初初物あふて事し

女 初初物あふて事し

之 初初物あふて事し

女 初初物あふて事し

二 初初物あふて事し

女 初初物あふて事し

女 初初物あふて事し

源氏はつらつたかたし  
とはそをいふらん  
しははをいふらん  
しははをいふらん  
しははをいふらん

初 人まらし  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と

初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と

初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と

初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と

初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と

初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と

初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と

初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と

初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と

初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と

初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と  
初 源氏平の母と



いこも〜〜〜  
初 柏木の法と云々

〜〜〜  
初 大丈大の〜

〜〜〜  
初 同果〜

〜〜〜  
初 柏の遠〜

〜〜〜  
初 物〜

〜〜〜  
初 法事〜

〜〜〜  
初 兄も〜

〜〜〜  
初 夜任〜

〜〜〜  
初 一葉〜

〜〜〜  
初 大洗〜

〜〜〜  
初 口信〜

〜〜〜  
初 馬身〜

〜〜〜  
初 馬金〜

〜〜〜  
初 舟門〜

〜〜〜  
初 大ね〜

〜〜〜  
初 け〜

〜〜〜  
初 柏木〜

くわんちん  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

いん 音の初 岩  
初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩

初 彦集文の河女あり 岩



＊  
水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...

水原少佐と云ふは...



一筆はふかきつてしつ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

ゆきまのうらみ

うきうきと居たりては、いふもなきに、春のついでに、  
我々の心も、いふもなきに、  
はるかに、いふもなきに、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、

大將殿の心、  
大將殿の心、  
大將殿の心、





~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~<sup>秘</sup>ツ音  
~~~~~  
~~~~~<sup>秘</sup>ツ音

~~~~~  
~~~~~<sup>秘</sup>ツ音  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~<sup>秘</sup>ツ音  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



秘  
 ねりよふとせしむるに  
 ねりよふとせしむるに  
 又毛筆下たる所の為し  
 音大將が  
 秘  
 ねりよふとせしむるに



月日かへして  
 こたわりを  
 引馬文庫  
 秘  
 ねりよふとせしむるに

